

新潟県の災害への備えを学ぶ動画を製作

～災害情報、新潟県内の活断層と被害想定、自助への備えとして地震保険を学ぶ！～

日本損害保険協会関東支部新潟損保会（会長：大鳥居 徹・三井住友海上火災保険株式会社 新潟支店長）では、新潟県および新潟県損害保険代理業協会と連携して、今般、ソフト（災害情報の活用）とハード（新潟県内の地質学的見地、活断層等の状況）の両面から、地震災害への備えを学び、自助への備えとして「地震保険」が必要であることを訴求する啓発動画『新潟県民のための防災力向上セミナー～新潟の災害への備えを学ぶ～』を作成しました。

本動画は、能登半島地震を風化させないために、昨年10月11日実施したセミナーの内容をコンパクトにまとめて編集したもので、セミナーに参加されていない方も、様々な観点から、短時間で地震への備えを学んでもらうための動画となっております。



動画 URL : <https://www.youtube.com/watch?v=vDmOG9R6Ctw>

第1部では、ラジオの実況中継が役に立った新潟大火と津波についての呼びかけなど効果的なテレビ報道が行われた新潟地震について概説があり、地震発生時の情報源は、ラジオ6割、ロコミ3割、新聞1割の順で、これは東日本大震災発生時の情報源と同じ傾向を示していると、関谷教授が指摘しています。

第2部では、能登半島地震の課題を整理した後、新潟県内の活断層と被害想定、創造的復興の意義について、卜部教授が分析・解説しています。

第3部では、地震災害に対する備えとして、地震保険・共済は生活再建に大きな効果が期待できるため、大切な備えであり、加入を検討してみてもどうかと、新潟県・堀川課長から指摘がされています。

第4部では、地震保険創設の経緯、地震保険の補償内容や加入方法、保険料のほか、地盤の液状化による損害認定について、小久保会長代行が解説しています。

当支部では、引き続き、地震等の自然災害に係る防災・減災に係る意識の向上および地震保険の普及・啓発に取り組んでまいります。

<動画の概要>

■ 防災力向上セミナー ～新潟の災害への備えを学ぶ～

第1部 「新潟と災害情報～新潟大火、新潟地震を踏まえた考察」(00:00～08:57)

東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター 教授 関谷 直也 氏

第2部 「新潟県内で予測される自然災害～地質学からの考察～」(08:59～17:20)

新潟大学 災害・復興科学研究所 所長・教授 卜部 厚志 氏

第3部 「災害への備えに関する近年の取組み」(17:22～20:37)

新潟県防災局防災企画課 課長 堀川 健一 氏 (令和7年当時)

第4部 「自助への備えとしての損害保険・共済」(20:40～25:52)

一般社団法人日本損害保険協会新潟損保会 会長代行 小久保 透 氏

(三井住友海上火災保険株式会社 新潟支店 新潟支社 課長)

※2025年10月11日(土)開催の「防災力向上セミナー」より抜粋